虐待の訴え 耳傾けよう

子ども保護支援NPO法人「パオ」7周年催し

虐待された子どもたちの保護や支援に取り組むNPO法人「子どもセンター『パオ』」（名古屋市東区）の設立七周年を記念したイベント（中日新聞社後援）が十三日、名古屋市港区の市港文化小劇場であった。

弁護士や福祉関係者らが二〇〇六年に設立。虐待された子どもたちのシェルターや、共同生活を送る施設を運営している。

虐待された子どもたちら、参加した90人に歌を披露する中村耕一さん＝名古屋市港区で

虐待問題に詳しい東京弁護士会の坪井節子弁護士とパオの多田元（はじめ）理事長が、保護された子どもたちが生きていくために大人ができることについて対談。坪井さんは「敬意を持って寄り添い、一緒に悩みを聞いてあげること」と指摘し、多田さんは「子どもを信じて温かく見守り、耳を傾ける力が必要」と語った。

パオを支援するタレントの矢野きよ実さんのパートナーで、歌手の中村耕一さんのミニライブもあり、参加した約九十人が耳を傾けた。（山本真嗣）